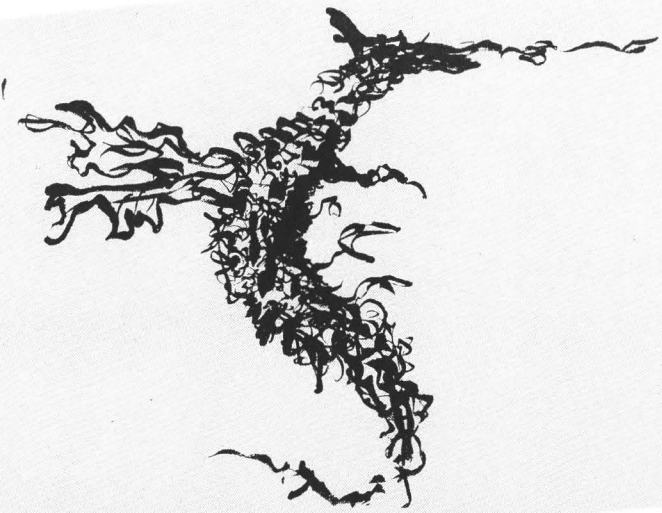


語り継ぐ、記憶を

福岡県糸島郡志摩町の白水洋子さんから
お便りをいただきました。白水さんは神戸で
被災され、現在は志摩町にお住まいだそう
です。そこで阪神・淡路大震災の被災者と



して、志摩中学校で当時の話をしてほしい
と依頼をされたそうです。ご自分の手許に
は資料が少ないため、資料紹介を連絡して
こられました。平成十二年十二月十一日に
生徒達に資料を見せ語られたところ、反響
が大きく、十四日に再度語られたそうです。
『お送りいただいた資料を見た中学生は、
震災当時はまだ小さかったもので、よく覚え
ていなく、写真や雑誌で初めて被害の大き
さを感じたようです。この事をきっかけに
災害・ボランティア・人の痛みなどに関心
を持つてくれればと願っています。』
お手紙からも震災のことを語り継いでゆ
く大切さが、強く感じられました。

なお、学校からの講師料をカンパしてく
ださいました。ありがとうございます。

寺池台小学校(富田林市)五年二組の前
田朋美さんから、「震災のとき困ったこと、
今も困っていること」などの質問の手紙が
届きました。学校での調べ学習で、震災の
とき兵庫県に住んでいたので、テーマに選
んだそうです。当時はまだ幼かった子供達
が、震災の記録を調べ、想いを語り継いで
ゆく、これからもずっと続いてほしいと思
います。

*自治労自治研よりカンパをいただきました。
した。ありがとうございます。

資料を提供してくださいました

*岩崎節生さん(水島消防署)より

村野高等学校・御菅地区・大道地区
の写真(震災派遣時に撮影)

*神戸市教育委員会より

「しあわせはこぼろ」(学校教本)

*御蔵小学校より

日記(平成六年十一月二七日)

平成七年七月二五日)

学校で保管されていたものを、平成
一三年一月一七日、寄贈を受けました。

*辻勝次先生より

災害社会学研究会 代表

立命館大学産業社会学部教授

「災害過程と再生過程」

―阪神・淡路大震災の小叙事誌―

一九九五年から一九九八年の四年間
にわたって長田区と北淡町の街区で、
『震災再生「街区調査」・面接』に
より、避難場所・生活場所の移動と
変化・家族構成・生活歴・地域社会・
生活や住宅の再建など、場所・時間・
状況等の綿密な聞き取り調査をもとに
まとめてあります。

ありがとうございます

人・街・ながた
震災資料室だより

人・街・ながた

震災資料室

発行

〒653 神戸市長田区北町3-4-13

電話(078)579-2311

発行人/寿 広文

編集人/福嶋・山西・武川

第50号

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① 1・17 in みくら

② 行事マップ(1・17)

③ 人口動態

④ 西野夜間中学

⑤ 語り継ぐ、記憶を他

1・17 in みくら 神戸に灯りき

あの阪神・淡路大震災からちょうど七回
忌を迎える今年、神戸市内各地では、市民
が主体となって追悼の会がもたれた。

その一つが、長田区の御蔵小学校で行わ
れ、震災資料室も、これに合わせて御蔵・
菅原地域を中心に震災資料を展示した。一
月十七日、午後五時四十六分「バーン」と
いう太鼓の音が体育館に鳴り響いた。その
太鼓を演奏しているのは、大阪にある「怒」
という太鼓集団の人々である。彼らの太鼓
の演奏は彼らの元気なパワーとともに体
に「ズシン・ズシン」と伝わってくるほど
力強いものである。彼らは、震災後、人々
を力づけようと被災地をまわってきてい
るとのこと。今回その会場となった体育館
には、地域の子供たちやその父母をはじめ、
地域の人々が集まってその音に聞き入っ
ていた。

太鼓の演奏終了後、みんなで校庭に集ま
り「1・17 in みくら」と並んだロ
ーソクの入ったペットボトルに、中央区の
東遊園地にある「希望の灯り」から分けて
きた灯りをみんなで灯していった。あたり
が暗くなった校庭に「1・17 in
みくら」の文字が風に揺られながら浮かび
上がった。この傍らには、神戸市立西市民
病院の方々からのお花が手向けられてい
た。今回の集いは、「1・17 神戸に灯
りを in みくら」と題して、地元の子
供たちの父母らでつくっている「かるみ父
母の会」が中心となり、神戸市従、番町支
部、市教組、市職衛生支部、空襲・戦災を
記録する会、震災資料室、その他が手伝
いさせて頂いた。この集いは、来年以降も
続けていく予定である。



井原和彦先生や学校職員の木村康裕さんらが震災で壊れた鉄製の大時計を大切に保管されていた。

西野分校は長田区三番町に明治三十七年に地元の協力で建てられた木造「階建の校舎」だったが、大震災で「立入り禁止」となり解体撤去となった。井原先生は「解体後テントで授業したり水木小学校を借りたり



地下鉄・山陽電車「板宿駅」からほど近い須磨区大黒町の太田中学校内に丸山中学校西野分校（西野夜間中学校）があり四十二人の生徒が通っている。

民主教育の歴史を刻む大時計

西野夜間中学（丸山中分校）が保存、春に展示

して平成八年十月、交通の便が良い太田中へ引っ越してきた」のだった。

木村さんは当時、

「北へ大きく傾いた全壊の校舎に入ると基礎の根元から壊れていてロッカー類は倒れ階段の踊り場は天井も抜け落ちていた。大時計は校庭から見えるように二階の外壁に取り付けられていた」そうだ。

神戸の夜間中学の歴史は日本の義務教育のリーダー的存在だった。

兵庫中学校北分校に勤務する清原昇先生は「昭和二十二年、義務教育となった当時は敗戦の混乱時であり子どもらは子守や親の仕事の手伝いで昼間は学校へ来れない子が多かった」ところが、文部省は夜間中学校を認めなかったので「熱意のある先生方による自主運営で夕間（夕方）学級としてスタートし、生徒らは大阪・尼崎・宝塚や



姫路・加古川からも通ってきた」そうだ。その後、教師らは義務教育を全ての子どもたちに受けさせようと「奨学金制度」や「パンとミルク」の弁当の支給などの運動を起こし夜間中学を全国へ波及させた。

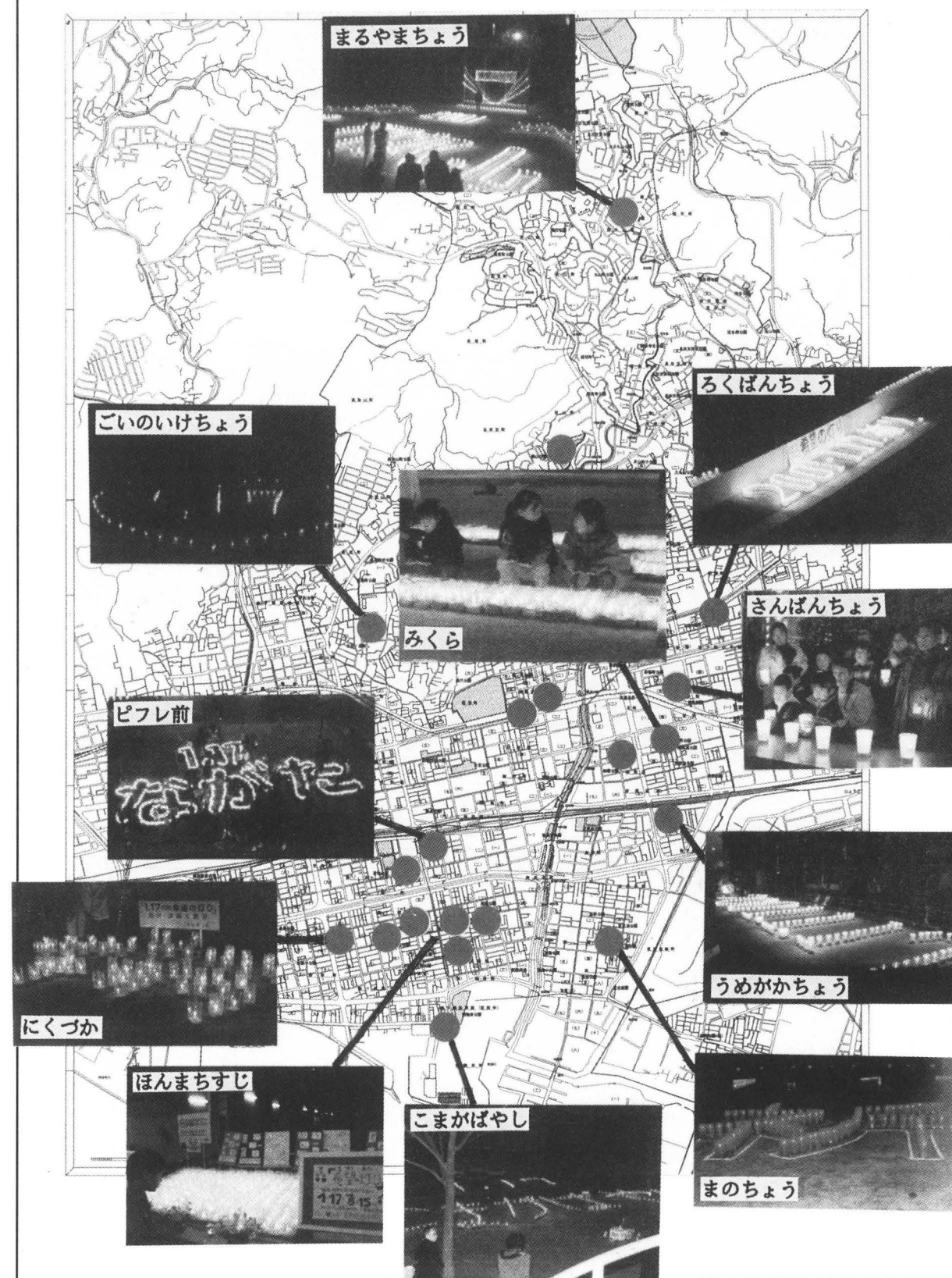
昭和五十一年、西野分校は生徒数百名になり兵庫中学校北分校が新たにつくられ東方面と西方面に分かれて生徒の受入れをするようになった。

震災四年後には全国夜間中学校研究大会が神戸で開かれた折には西野分校で交流会が催された。

今春の震災資料室展で公開するこの大時計は阪神大震災の証人でもあり同時に我が国の熱意ある教師らの戦後民主教育の証人でもある。



ともそう！「希望の灯り」・ながた



国勢調査、速報値出る。

国勢調査速報発表

平成12年10月1日に実施された国勢調査によると、長田区の人口は105,467人となり、前回平成7年国勢調査の結果と比べると8,660人、8.6%増加しました。また世帯数は45,871で、前回と比べると7,892世帯、20.8%の増加となりました。(表1・グラフ1)

しかし、震災直前の人口と比べてみると、平成7年1月1日の推計人口では、129,978人と、今回よりも24,511人多く、81.1%の水準となっております。神戸市で最も低い数字となっています。(表2)

震災と人口の関係

長田区は震災で大きな被害を受け、震災直前人口と平成7年10月1日国勢調査を

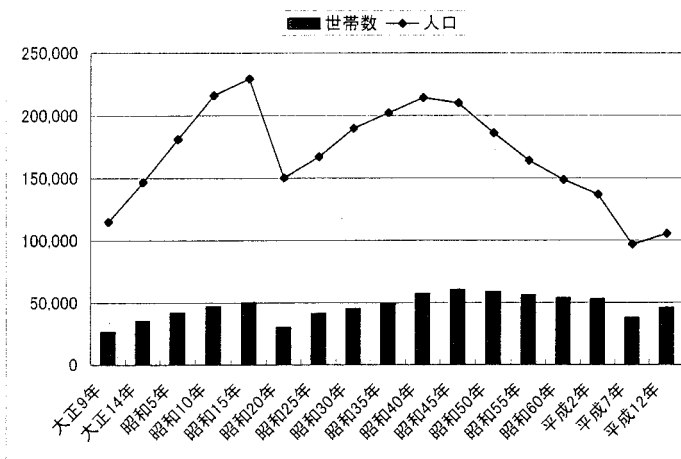
(表1)

		平成2年	平成7年	平成12年	H7～H12 増減数	H7～H12 増減率
神戸市	人口	1,477,410	1,423,792	1,493,595	69,803	4.9%
	世帯数	539,151	536,508	606,100	69,592	13.0%
長田区	人口	136,884	96,807	105,467	8,660	8.9%
	世帯数	52,948	37,979	45,871	7,892	20.8%

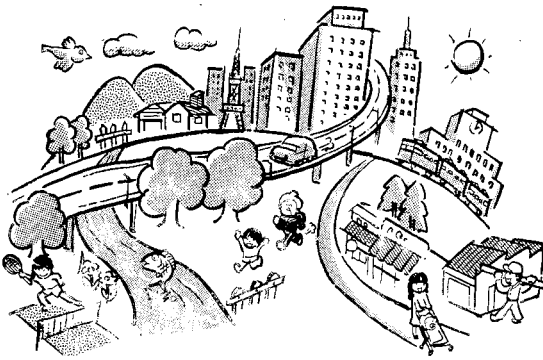
比べると33,171人、15,268世帯減少しました。

現在、再開発地域にも復興住宅も建ち

長田区の人口と世帯数の推移(国勢調査結果) グラフ1



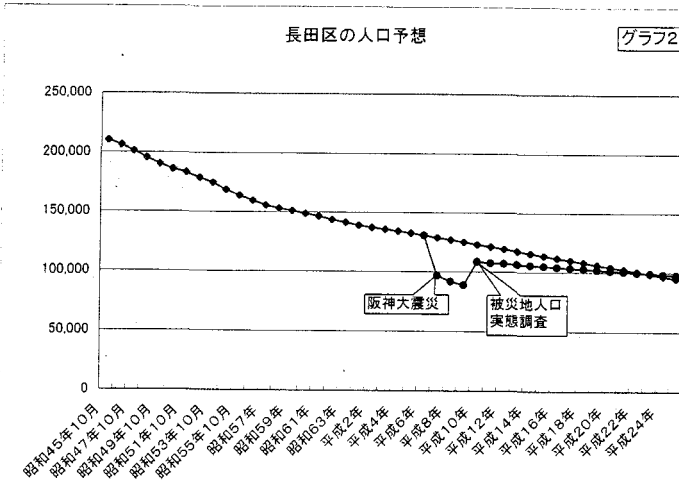
並び、前段にもあげているように約80%の人口が戻ってはきていますが、震災がなければ人口は震災前のままとどまっていたのでしょうか?平成6年から平成25年まで、平成10年から平成25年までを一定の格差で減少していれば、平成23年には人口が逆転する計算になります。(グラフ2)



将来の長田のために

しかし、それでは長田の街の産業・文化の活性化は望まれません。

震災から6年、ハード面の復興は誰の目にも明らかですが、やっと長田に帰ってこれた人、長田に新しくかわってきた人の生活が潤うようなソフト面の復興を行政に期待したいものです。



(表 2)

区名	平成7年1月1日 推定人口	平成12年10月1日 国勢調査	人口増減数	比率
神戸市	1,520,365	1,493,595	△ 26,770	98.2%
東灘区	191,716	191,304	△ 412	99.8%
灘区	124,538	120,505	△ 4,033	96.8%
中央区	111,195	108,033	△ 3,162	97.1%
兵庫区	117,558	106,911	△ 10,647	90.9%
北区	217,166	225,187	8,021	103.7%
長田区	129,978	105,467	△ 24,511	81.1%
須磨区	188,949	174,055	△ 14,894	92.1%
本区	78,908	70,010	△ 8,898	88.7%
北須磨	110,041	104,045	△ 5,996	94.6%
垂水区	237,735	226,370	△ 11,365	95.2%
西区	201,530	235,763	34,233	117.0%